

環境についてみんなで考えよう

かんきょう通信

環境林務課

1年間のゴミの量をお知らせします

日頃から、ゴミの分別にご協力いただきありがとうございます。

令和元年度のごみの量は、平成30年度と比べ減少していますが、収集したゴミの中から資源化された割合

令和元年度 ゴミ収集・処理量

ゴミの種類	令和元年度	平成30年度	増減
燃やせるゴミ	1,995,880	1,996,110	△230
燃やせないゴミ	234,750	332,902	△98,152
資源となるゴミ	1,040,475	1,029,181	11,294
粗大ゴミ	353,870	309,792	44,078
有害なゴミ	4,065	4,555	△490
収集量	3,629,040	3,672,540	△43,500
資源化量	918,850	936,236	△17,386
リサイクル率	25.3%	25.5%	△0.2%

を表す『リサイクル率』は、0.2%減少し、25.3%となりました。

また、1人1日当たりのごみ排出量は、1086gで、全国平均（918g・平成30年度）や北海道平均（969g・平成30年度）と比較して、多い状態が続いています。

ゴミの排出抑制の取り組みを進めましょう

町では、環境に優しい循環可能な社会を目指し、3Rの取り組みを進めています。

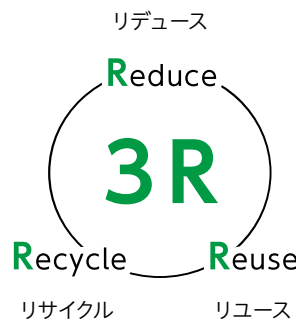
3Rとは、リデュース（Reduce／ゴミの発生を抑制する）、リユース（Reuse／繰り返し使用する）、リサイクル（Recycle／資源として再利用する）の3つのRの総称で、この中でもリデュースは、最も優先度が高いものです。リデュースの取り組み例は、次のとおりです。

▽買い物には、マイバッグや買い物かごを持参し、レジ袋はもらわない
▽ unnecessary packaging を断る

▽食料品などは、必要なものを必要な量だけ買う

▽詰め替え商品など、ゴミとなる量が少ない商品を買う

リデュースの取り組みを進め、ゴミの減量化にご協力をお願いします。



汚れたプラスチックごみは洗ってから出しましょう

資源となるゴミのプラマークがついているプラスチックは、中身を使い切って洗うなどして、『きれいなもの』を出してください。どうしても汚れが取れないものは『燃やせるゴミ』に出してください。

汚れがついているものは、きれいに出されたものを汚してしまい、同じ袋に入っているとリサイクルすることができなくなります。

また、プラスチックゴミは、プラマークのついているものとついているものに分かれています。それぞれ分けて出しましょう。

正しく分別することで、リサイクルが可能となりますので、ご協力をお願いします。

釧路広域連合に加入しました

町のごみ焼却は、昭和52年4月から稼働しているごみ焼却処理場で行ってきましたが、施設の維持管理費が年々増大していることから、令和2年1月に釧路広域連合に加入し、可燃ごみの焼却処理や焼却施設の管理運営を構成市町村（釧路市、釧路町、厚岸町、弟子屈町、鶴居村、白糠町）が共同で取り組んでいくこととなりました。

釧路広域連合清掃工場での可燃ごみ焼却は、令和3年4月から開始されますが、焼却するゴミの量によって負担金が発生します。

燃やせるゴミの量が削減されることで、負担するゴミ処理経費が削減されますので、今まで以上のごみの減量化やゴミの分別に、ご協力をお願いします。



4月は、レッドカードを使用しませんでした。引き続き分別へのご協力をお願いします。

●問い合わせ／廃棄物対策係